

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	平成17年度		
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	06 スポーツ・レクリエーション
事務事業名		03 保健体育総務管理事業	
		根拠法令・例規等	スポーツ振興法・備前市スポーツ振興審議会に関する条例 外
		問合先	担当課(室) 教育委員会スポーツ振興室
		職・氏名	室長補佐 山本香代子
		電話	63-3813
		このシート作成に要した時間	1.5 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	体育協会・スポーツ少年団 スポーツ振興審議会・体育指導委員会の各委員 競技スポーツで高いレベルを目指し、全国大会へ出場する人
目的(何のために)	体育協会・スポーツ少年団の育成・支援することでスポーツ振興を図る。指導者の育成と資質の向上を図る。 激励会を開催し激励金を交付することで、全国大会等出場者の健闘を讃えるとともに競技スポーツの推進・向上を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	体育協会・スポーツ少年団を支援することにより、各種スポーツ人口の増加を図る。指導者の育成、資質の向上によりスポーツ活動の充実・活性化を図る。 全国大会等出場選手を激励・紹介することにより、競技スポーツの人口の増加を図る。

Plan

事業の目的、対象、内容を考えて妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	保健体育総務管理事業	備前市スポーツ少年団・備前市体育協会への補助金交付	
	各種委員会	備前市スポーツ振興審議会年2回・体育指導委員会年4回	
	体育功労者・全国大会等出場選手激励金	備前市の体育に向上進展に寄与した者に表彰し、全国大会国際大会等に出場する選手に激励金を交付	

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	100	110	115	120
全国大会等出場選手激励金交付件数		実績値(B)	118	114	132	到達目標値
		達成率(B/A)	118.00%	103.64%	114.78%	120
成果指標設定の考え方・式や説明						
指数は全国大会等の出場者を増やすことが目的であるが、実績値は県や国の予選を勝ち抜いて国際大会・全国大会・小中学生の中国大会へ出場する者と、国民体育大会の岡山県選手団で備前市在住者が激励金を交付した件数。						

(平成22年度事業)

事務事業の評価		5段階評価(A-E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	妥当性評価 <A-E>	B
	必要性	<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	効率性評価 <A-E>	B
	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 <A-E>	B
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

事業の目的、効果やその数値を留意しながら評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	目標を持って競技スポーツに取り組み、全国大会・国際大会等に出場することは、スポーツを行う者にとっての目標の一つであり、スポーツ振興にも大きく影響があるので、出場者への健闘を讃え激励金交付は継続する必要がある。8月から毎月第1週目の水曜日に開催日とされた激励会は、年度末まで毎月数名の対象者がおり、広報や新聞掲載により広く市民に周知できたので引き続き開催したい。						

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
事業費	直接事業費	千円	11,461	10,467	10,692	
	必要人員人件費	千円	1.23人 9,276	1.59人 15,334	1.36人 13,039	
	国県支出金	千円	20,737	25,801	23,731	
決算額	受益者負担					
	繰入金	千円				
	その他(一般財源)		20,737	25,801	23,731	
受益者負担比率		%	-	-	-	
結果指標名						
結果指標	結果指標量	単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
	全国大会等出場選手激励金	説明	国・県を代表して全国大会国際大会に出場する者に対して激励金を交付する件数	118	114	132
	対前年比	%	-	98.3%	115.8%	
	活動コスト	円	0	0	0	

総合評価		5段階評価(A-E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い		
体育協会・スポーツ少年団への活動補助金交付は年度毎に見直しを行い、有効に活用されスポーツ振興に役立てるよう協議をする必要がある。各種目の審判講習会等は体育協会の種目団体が積極的に実施している。また、スポーツ少年団は奉仕活動や交歓大会を団独自で開催するなど自立した活動もできている。東備西播定住自立圏形成事業の一環で、体育指導委員が意見交換会やニュースポーツの実技研修会を開催し、2市1町の指導委員同士の交流が活発に行われた。体育指導委員は、激励金交付事業も市民にも周知されてきており、激励会開催も対象者にとっても大きな励みになった。	評価区分 <A-E>	B		

平成24年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	生涯スポーツの振興を図るため、体育協会・スポーツ少年団の支援・指導者の育成を行う。(また、青少年健全育成のためにも、スポーツ少年団員を増やすとともに、指導者の確保と養成が必要であるため、補助金の増額も視野に入れていく必要がある。)全国大会等出場選手の激励についても、より推進する必要がある。						

Action